

自己評価・学校関係者評価報告書

①本園の教育目標

たくましい体、豊かな心、伸びる知能

全人教育（調和ある人格）を理想とする保育運動（ムーブメント）教育を軸として

1. こどもの主体性、自発性を大切にして、身体の機能を育てる保育
2. こどもの身体の動きを通して、知覚能力や情緒、社会性を育てる保育
3. 認知能力、創造性の発揮に通ずる人間の基礎づくりの保育
4. こどもが喜び、満足感、達成感を持ち『幸福』を感じる保育

②評価項目の達成及び取組状況

	評価項目	評価	取組状況
1	こどもの主体性、自発性を大切にして、身体の機能を育てる保育	3.87	子ども一人ひとりの「やってみたい」という思いを大切にしながら実行できるようにする。
2	こどもの身体の動きを通して、知覚能力や情緒、社会性を育てる保育	3.73	社会性を育てる部分では、相手の気持ちを考えて関わったり自分が役に立つ喜びを感じられるよう進めている。知覚能力の部分では、五感に発達を促す活動を取り入れていく。情緒の部分では、物事を取り組んでいく中で感情の共有を共感をできるようにしている
3	認知能力、創造性の発揮に通ずる人間の基礎づくりの保育	3.73	子どもたちの創造性や想像力を広げていくために、制作活動や遊びの中で様々な考え方があることを伝える。
4	こどもが喜び、満足感、達成感を持ち『幸福』を感じる保育	4.20	どの活動にもひとり1人がやる気を持って取り組めるような前向きな声掛けをし、自信を持って最後は達成感や満足感を感じられるようにしている。

評価（5…十分に成果があった 4…成果があった 3…少し成果があった 2…変わらない 1…成果がなかった）

③総合的な評価結果

評価	理由
B	教育目標に対し、保育者の子供への関わりが見え、平均値も超えることができた。これからも、保育者一人ひとりのスキルアップに努めていくよう指導していく。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

④今後取組む課題

	課題	具体的な取組方法
1	愛される園づくり	子どもたちがいつも笑顔で生き生きとした表情で園生活が送れるように子どもたちそして保護者と良好な関係を築いていく。
2	信頼される園づくり	子どもや保護者の気持ちに寄り添い関わっていきながら、ひとり一人ときちんとコミュニケーションを取り安心して子どもを預けられるように心がける。
3	子どもの満足感・達成感の向上	子どもが遊びや活動の中で色々なことに挑戦しようと思えるような前向きな声掛けをし、頑張って挑戦してみようという自信をもち、満足感を感じられるようにしている。
4	保護者の満足感の向上	子どもひとり一人の園での様子を丁寧に伝え、子どもの成長と一緒に喜べるような関係性を気づいていく。

⑤学校関係者評価委員会の評価

先生方が子どもひとり1人の気持ちに寄り添いながら関わってくださっていると感じます。朝の受け入れやお迎えの際にも丁寧に様子を伝えてくださり保護者の声にも耳を傾けていただき、親子で安心感の中で登園できていると思っています。担任の先生だけでなく他のクラスの先生方、園長先生も子どもたちの名前を覚えて声を掛けてくださることも多く園全体で温かく見守っていただいていると感じています。清潔な教室、季節の行事、日々の活動も工夫されており、室内外ともに子どもたちがのびのびと過ごせる環境が整っていることにも感謝しています。